

手づくりレシピ

父の日

デニムと時計パーツの男前イニシャルチャーム



【材料】

- ☐ ・LEDレジン液
- ☐ ・アルファベットシリコンモールド
- ☐ ・スーパーデザインフィルムPPF-41
- ☐ ・8 オンスデニム濃紺(AE800-1) 5 cm角
- ☐ ・時計パーツRSP-525
- ☐ ・ヒートンキャップRSP-404S 1個
- ☐ ・ボールチェーンS ☐ ・丸カン1個

☆アレンジ例：デニムの代わりにハガワ(茶・黒・紺)



【必要な道具】

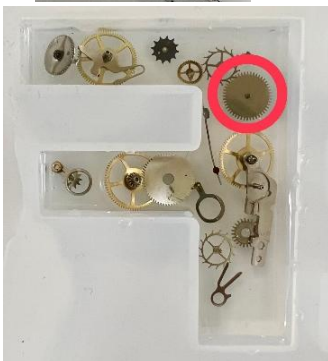
- ・LEDランプ ・エンボスヒーター・ピンセット
- ・つまようじ・牛乳パック ・シリコンマット
- ・ハサミ ・クラフトバッファースリム
- ・平ヤットコ2本・綿棒・ハサミ

①デニムを生地のたて目の方向に、1cm弱の幅でハサミで切り込みを入れ、手で裂きます。裂いたデニムを3cmほどにハサミでカットしておきます。斜めにカットして、白い糸を抜くと濃紺の糸端が効果的です。



・丸カン1個

②透明のレジン液をシリコンモールドの高さ約1/3まで流します。モールドの角に気泡が残ることがありますので、つまようじの先で気泡を浮かせてエンボスヒーターで取り除きましょう。時計パーツを配置します。パーツを重ねる場合は底が作品の表になることを意識して配置します。※プレート状のパーツには後でコーティングの際にメッセージフィルムを重ねると文字が映えますので、位置を考えて置くと良いでしょう。画像の赤○参照



③モールドの高さ3/4までレジン液を追加し、カットしたデニムをピンセットで配置していきます。デニムがレジン液を吸収し色が濃くなります。今回の作品ではデニムの表地を下に向けてと濃紺で時計パーツが映えます。ただし単調にならないようモールドのほうでねじったり糸端を見せて表情をつけるとデニムの質感が表現できます。デニムがレジン液を吸収し空洞ができますので、ピンセットで押さえ空気を抜きます。モールドいっぱいまでレジン液を追加し、気泡を取り除いて2分硬化します。シリコンモールドごとひっくり返し裏から2分硬化します。

☆デニムの代わりにハガワを細くカットしてアレンジする場合は、ハガワから気泡がでますのでしばらくレジン液に浸してからデニムと同様の工程でハガワを封入します。



④シリコンモールドから取り出し、バリはクラフトバッファースリムで取り除きます。裏面全体にくぼみを埋める量の透明レジン液でコーティングをし、塗り残しがないことを確認し、タイマー2分硬化します。べたつきが残るようなら、様子を見て照射時間を長くします。

⑤フィルムの周りを丸くカットします。※配置する時計パーツよりやや大きめに透明部分をカットするほうがフィルムの境目が目立ちません。表面にフィルムを貼るところにレジン液を塗り空気を抜いてフィルムを配置します。約15秒仮硬化します。時計パーツを修正したい箇所はレジン液を塗りパーツを配置し仮硬化します。(ただし、コーティングにひびかないよう修正でのせるのは薄いパーツのみ)

表面全体にレジン液でつややかにコーティングをし、気泡や塗り残しがないことを確認し、べたつきが残らないようしっかり硬化します。※鋭角のくぼみ部分はレジン液が流れやすいため、最後に伸ばすと良いです。



⑥ヒートンキャップをつける場所に少量のレジン液をつけ、ヒートンキャップ穴を前向きに置き30秒仮硬化。さらにヒートンキャップの根元に補強のレジン液をつけてタイマー2分硬化します。

平ヤットコで丸カンを開閉します。ボールチェーンをつないで完成です。

